

お金の使い道

対して審査を行い、それぞれに意見を付して可決しました。

担い手育成総合支援事業

問 経営改善計画書の作成支援の成果は。

答 認定農業者は年間所得420万円、労働時間2000時間に抑えるように計画を策定をする。令和4年度は23件の改善支援を行った。

意見 農業経営体への支援を強化し、喫緊の課題である担い手の育成に努められたい。

盛岡・紫波地区環境施設組合負担金

問 家庭系ゴミが300トン減っているが、経費が昨年度に比べ300万円ほど増額した要因と対策は。

答 原因は、ゴミ焼却施設運転用コークスの価格高騰にある。主要生産国である中国の生産が不安定で見積単価58・3円/kgが、実際は108円/kgと倍以上に増えた影響が大きい。対策としては、転入者を含め分別説明会などを通して広くゴミ減量活動を推進していく。

除雪事業

問 モーターグレーダー（除雪車）の購入時にリース導入の検討はしたか。また、除雪作業についてムラがあるとの声があるがどのような対応をしたか。

答 モーターグレーダー購入は3分の2を交付金で賄っているためリースより安く導入している。また、今回入れ替え車両については30年ほど使用した。除雪作業は、シーズン前に業者と安全かつ円滑な作業ができるよう打ち合わせを行っている。道路状況もあるが、これからも適切な指導をしていく。



町営住宅建替事業

問 町営住宅PPP/PFI導入可能性調査の結果をどのように検討したか。

答 約495万円で委託し、町営住宅の建て替えに民間の活力を導入できるか可能性調査を行った。具体的には、建て替え戸数、整備戸数の考え方、事業の基本条件の検討を行った。この調査に関して、建設業者、不動産業者の意見を聴取し、民間活力による町営住宅の建設は可能ではないかという結果を得た。

ふるさと寄附対応事業

問 ふるさと納税が15,180件あったが、この財源はどのようなところに使われていたのか。

答 寄附の際、10種類の項目からアンケート形式で使い道の希望をとっている。令和4年度はインフルエンザの予防接種や、除雪車の購入などに使用された。

令和4年度決算

議員が質問！

町の決算に対し質疑し、一般会計・特別会計・下水道事業会計に

地域防災推進事業

問 重点施策として自主防災組織の体制確立の推進と活動支援が掲げられているが、その成果は。

答 コロナ禍で、人を集めての活動が難しい状況だったが、令和5年2月に古館ふれあいホールにて岩手県防災サポーターを講師に迎え、自主防災リーダー研修会を開催して、防災意識を高める取り組みを行った。

小中一貫教育推進事業

問 小中一貫教育検証委員会の検証結果を受けての取り組みは。

答 検証委員会によるアンケートで児童生徒・保護者からは、概ね高評価を得られた。教職員については、課題解決に向けてさらに研修会を行い、理解を深めた。

意見 小中一貫教育の検証を行い、児童生徒および教職員の良好な教育環境の充実に努められたい。



就学援助費支給

問 周知は。家計急変への対応は。

答 新一年生に対しては、入学前の就学時健診の際、在校生に対しては、学校から世帯へ案内している。家計急変に対しては、随時相談を受け付けている。

不登校児童生徒への支援

問 教育機会確保法の周知と法に沿った取り組みは。

答 校長会議や生徒指導主事研修会などで周知を図っている。別室登校やフリースクールの出席扱い、教育支援教室などの取り組みを進めている。

意見 不登校児童生徒の状況を把握し、適切な相談や心身のケアに努めるとともに教育機会確保法について、広く周知を図られたい。

学校給食事業

問 滞納が増えた原因は。滞納を解消するための対策と効果は。

答 新型コロナウイルスの影響で自宅訪問できなかったのが一番の要因。令和5年度からは積極的に訪問して

いる。結果として令和4年度に比べ収納率が増えてきている。今後も収納に努力していく。

病児保育事業実施委託料

問 予約者が多くキャンセル待ちもある。需要に対して対応できていたか。

答 キャンセル待ちの家庭もあったが、一日当たりの平均受け入れ人数は6人に対し2.9人だった。年間を通じての需要に対しては対応できているが最大値に対応した運営は難しい。バランスを考えながら見通しを立てていく。

一時保育事業

問 利用者の減少に対して、今後の運営は。

答 減少の原因は新型コロナウイルスの影響が大きかった。今後は利用控えが落ち着いてくると見られ、動向を見ながら事業を進めていく。